

令和7年第4回富谷市議会定例会

市長挨拶

令和7年11月28日

富谷市長 若生 裕俊

～『住みたくなるまち日本一』を目指して～



## 1. はじめに

本日ここに、令和7年第4回富谷市議会定例会が開会されるにあたり、開会の挨拶に併せ、富谷市総合計画に掲げた、まちづくりの将来像「住みたくなるまち日本一」の実現に向けた現在の取組概要について、ご説明申し上げます。

議会の皆様には、日ごろより市勢発展のため、ご尽力いただいておりますことに、改めて感謝を申し上げます。

はじめに、クマ対策についてご説明申し上げます。

今年は、全国、そして県内各地において、クマの出没・被害が相次いでおり、まさに災害というべき状況となっております。

市内におけるクマの目撃情報は11月24日現在で126件と、前年同時期と比べても、74件の増加と過去最多となっており、市民の皆様には、大変ご不安とご心配をおかけしております。

7月には、本市で初開催となる国内トップレベルの大会である女子プロゴルフトーナメントが開催され、多くの観客をお迎えするところでしたが、大会前日にクマが出没し、残念ながら、大会期間の短縮と無観客による大会運営となりました。

また、9月に、しんまち地区でクマによる人身被害が発生いたしました。その対策として、現場周辺の河川敷の刈払いを迅速に実施するとともに、鳥獣被害対策実施隊（猟友会）との連携のもと、箱わなを設置し、クマ1頭を捕獲・駆除しております。

本市では、これまで、クマ出没時のパトロール実施や「安全安心メール」、LINE等での市民への情報発信、児童生徒の登下校時の安全対策、さらには大和警察署や鳥獣被害対策実施隊と連携し、クマを捕獲・駆除するなど、さまざまな対策を実施してまいりました。

しかしながら、未だクマの目撃情報が連日寄せられ、クマ出没が一向に収束しない状況を踏まえ、11月7日に私を本部長とする「富谷市クマ対策本部」を設置いたしました。

クマによる被害発生の防止対策を全庁体制で迅速・適切に実施し、市民の生命と安全安心を確保する体制を強化したところです。

14日には2回目となる本部会議を開催し、具体的な対策として、柿などの誘

引樹木の伐採、箱わな設置の増設、公共緑地・河川敷の刈払い、クマ出没地域の見守り強化、市民への情報提供充実などからなる「富谷市クマ緊急対策パッケージ」を緊急にとりまとめ、既に対策の多くを実施しております。

今後も、鳥獣被害対策実施隊や大和警察署、宮城県など関係機関と密接に連携しながら、各対策を迅速・適切に推進することにより、クマの被害防止等に全力で取り組んでまいります。

つきましては、緊急対策で実施していることから、予備費を活用するとともに、本定例会の補正予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議の程、よろしくお願ひいたします。

次に、総合病院の誘致について申し上げます。

誘致病院事業者候補者である学校法人東北医科薬科大学との協議を経て、10月29日に「病院の開設及び運営に伴う基本的事項に関する覚書」を締結いたしました。

このたびの覚書締結に至りましたことを大変嬉しく、また総合病院設置に向けた大きな一步であると感じております。議会の皆様のこれまでのご理解とご支援、そして多大なるご協力を賜りました、関係者の皆様に対し深く感謝を申し上げます。

今後は、大学側と、新病院の病床数、診療科目、災害医療・新興感染症への対応などの医療機能等について協議を重ね、令和8年4月を目指に、具体的な内容を盛り込んだ基本協定の締結に向け、しっかりと取り組んでまいります。

また、同日に、第3回富谷・黒川地域総合病院立地推進協議会を開催いたしました。東北医科薬科大学の理事長をはじめ、大学関係者の皆様にもご出席いただき、黒川地域の3町村長の皆様に対し、富谷・黒川4市町村が公立黒川病院、黒川医師会等と連携・協力して推進する、新病院を含めた「医療連携支援等プラットフォーム」の構築に向けた取組状況等を説明し、引き続き、4市町村が連携・協力して取り組むことを確認いたしました。

なお、医療連携支援等プラットフォームの構築に向けた取組については、10月8日、10日、31日の3日間、地域医療連携の先進地視察を行うなど情報収集に努めているところです。

今後、1月を目指に、同プラットフォームの「準備会」を開催し、地域医療連携の取組への理解促進と情報共有を図ってまいりたいと考えております。

これまで申し上げてまいりましたが、今回の病院誘致は、単に一つの病院を誘致することだけではなく、地域医療の新たなモデルとなる医療連携支援等プラットフォームの構築を目指し、富谷・黒川地域全体の医療提供体制の向上と医療資源の最適活用につなげてまいりますので、引き続き、特段のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

また、総合病院用地における未契約分の土地、約 9,044 平方メートルの取得に関連し、本定例会において、共有地権者の人数の変更に伴う土地取得の関連議案を上程しておりますが、お陰様で 11 月 10 日までに共有地権者全員から土地売買契約書への押印をいただきました。

つきましては、速やかに土地売買契約の締結を進め、年内中の所有権移転登記の完了に取り組んでまいりたいと考えておりますので、ご審議の程、よろしくお願い申し上げます。

次に、物価高騰対策について申し上げます。

依然として、食料品や燃料、生活用品など、ありとあらゆる物の価格が高騰し続けている中、国において、11 月 21 日に「強い経済」を実現する総合経済対策を閣議決定し、物価高騰対策重点支援地方創生臨時交付金を拡充する旨が盛り込まれました。

本市におきましては、本交付金を活用し、市民の皆様へ一刻も早くご支援できるよう、早急に、物価高対策としての生活者支援策をとりまとめたところです。

また、長期化する物価高の影響を強く受けている子育て世帯を支援するため、国の制度に基づき、児童手当支給対象児童を養育する父母等を対象に、0 歳から高校 3 年生までの子ども 1 人あたり 2 万円の「物価高対応子育て応援手当」を支給いたします。

対象となる世帯に速やかに生活支援を行うため、原則「プッシュ型」で支給することとし、準備を進めてまいります。

つきましては、本定例会の会期中に関連予算を追加提出いたしますので、ご審議の程、よろしくお願いいたします。

## 2. 「基本方針－1 暮らしを自慢できるまち」について

それでは、富谷市総合計画の 4 つの基本方針と後期基本計画の体系に基づき、各種施策の実施状況について申し上げます。

まず、「基本方針－1 暮らしを自慢できるまち」に関する主な施策について申し上げます。

#### （1）商工業・雇用関連施策について

はじめに、商工業・雇用関連施策について申し上げます。

雇用関連施策については、11月14日に黒川高等学校を会場に、富谷・黒川4市町村の連携により、高校生の就業意欲を高めることを目的とした「黒川地域産業説明会」を開催いたしました。

当日は、富谷・黒川地域に立地する32社が、自社の製品や仕事内容をPRいたしました。本市からも8社が参加し、中小企業の人材確保が課題となっている中、今後の人材の確保・育成に向けた取組となりました。

#### （2）起業支援関連施策について

次に、起業支援関連施策について申し上げます。

起業塾「富谷塾」については、現在、200名の塾生が入塾し、とみぶら及び荷宿を拠点に、起業創業・スタートアップに向けた取組を進めております。12月には、起業プログラムの成果発表会を控えておりのことから、引き続き、個々のレベルに応じた支援に取り組んでまいります。

また、来年1月には、スタートアップ都市推進協議会主催の「ジャパンスタートアップセレクション」が東京で開催されます。今年度も3社が参加し、来場する企業や投資家に対して、それぞれの事業のPRを行うこととなっております。

今後も各種プログラムを通して、塾生のビジネス創出や事業成長に向けた支援を展開してまいります。

#### （3）農業関連施策について

次に農業関連施策について申し上げます。

米の生産については、農林水産省ではこれまで「主食用米の増産方針」を打ち出していましたが、高市内閣に代わり、2026年産は需要に応じた生産を基本とすることに見直しが行われております。

市といたしましては、国の掲げる「需要に応じた生産」の基本方針を踏まえ、今後、示される「生産の目安」の提示と合わせ、主食用米と、大豆や飼料用米等転作作物の作付けバランスの調整を図り、引き続き、生産者の作付意向を見計ら

いながら、新みやぎ農協との連携のもと、適切な米の生産に取り組んでまいります。

#### （4）観光・地域振興施策について

次に、観光・地域振興施策について申し上げます。

10月11日、12日の2日間にわたり、富谷中央公民館を会場に「第15回全国発酵食品サミット in とみや」を開催いたしました。2日間とも、あいにくの雨模様でしたが、予定されていたステージイベントやワークショップは、滞りなく実施することができました。

初開催となった「発酵甲子園」では、地元の富谷高校を含めた5校が参加し、それぞれの地域の発酵食品についてプレゼンを行い、次世代への発酵文化継承につながる取組になりました。

また、「発酵マルシェ」については、北は北海道から南は沖縄まで、全国の発酵食品が軒を連ね、本市においても、日本酒や、富谷産大豆を使った味噌・醤油のほか、富谷茶による発酵茶などの販売も行われました。

改めて、運営を担っていただいた実行委員会の皆様をはじめ、全国からお越し頂いた皆様に感謝を申し上げます。

「富谷宿街道まつり」については、富谷宿観光交流ステーション・とみやどをメイン会場として10月12日に開催いたしました。相乗効果による交流人口の増加を目指して発酵食品サミットとの同時開催とし、パレードやステージイベントに加え、昨年に引き続き、通りには門や灯籠、休み処などを設置しながら、宿場町の風情を演出いたしました。

当日は、雨天により、午前中のパレードを中止せざるを得ない状況となりましたが、発酵食品サミットの2日間と合わせて1万8,180人のご来場をいただきました。

とみやどについては、11月6日に、来場者数80万人を達成いたしました。今後も定例イベントをはじめ、さまざまなイベントなどの開催により、さらに多くの皆様にご来場いただけるよう努めてまいります。

ユートミヤに整備するスイーツステーションについては、今年度を含めた4か年の委託事業者を決定いたしました。

また、カフェの運営事業者についても、委託事業者からの提案を精査したうえで、県内等でカフェを展開する事業者に決定したところです。

今後、両事業者と綿密に調整を行いながら、来年春の開所に向けて、鋭意準備を進めてまいります。

#### （5）公共交通関連施策について

次に、公共交通関連施策について申し上げます。

「都市型自走式ロープウェイの導入可能性調査」については、10月末をもって調査が完了し、先の議員全員協議会において、明石台から泉中央駅付近までの区間における敷設について、物理的に導入可能であることや概算事業費等の調査結果を議員の皆様にご報告をさせていただいたところです。

現在、開発事業者において、国との法的な位置づけに関する協議を進めておりますので、今後はその動向を注視しながら、今回の調査結果の深掘りや関係機関との調整を進めてまいります。

市内における夜間の交通空白解消の手段として実証運行する「とみや公共ライドシェア」については、10月24日に開催いたしました地域公共交通会議において、正式に協議が整い、11月26日から12月25日までの約1か月間、市内において、市民がドライバーとなり、有償運送を行います。

市内の夜間における交通利便性向上のため、何よりも安全に十分配慮した実証運行に取り組んでまいります。

市民バスについては、地域公共交通計画に基づき、ユートミヤの開館に伴うアクセス向上や、これまで市民の方にアンケート等を通してお寄せいただいたご意見を踏まえ、来年4月1日に路線の一部再編及びダイヤ改正を予定しております。

また、スマートフォンなどでバスの到着を把握することができる「バス・ロケーションシステム」について、10月1日より導入しており、11月18日現在で、1,030件の利用があり、多くの市民の皆様にご活用いただいております。

今後も、市民バスを多くの方にご利用いただけるよう、サービス向上に努めてまいります。

## （6）道路関連施策について

次に、道路関連施策について申し上げます。

国の交付金対象事業である七北田西成田線及び明石台 25-1 号線の舗装修繕工事、新富谷大橋長寿命化修繕工事については、いずれも順調に工事が進捗しており、年度内の完成を目指し、鋭意取り組んでまいります。

また、早期修繕の優先度が高く、来年度に着手を予定していた穀田大沢線舗装修繕工事については、事業費の調整を図り、今年度に前倒しで着手いたしました。引き続き、全線の早期完成を目指して取り組んでまいります。

なお、令和 8 年度からのクマ対策として、道路敷の見通し確保を目的に、道路敷と街路樹周辺の除草回数を 2 回から 3 回に増工したいと考えております。

つきましては、本定例会の補正予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議の程、よろしくお願ひいたします。

## （7）土地利用関連施策について

次に、土地利用関連施策について申し上げます。

土地区画整理事業については、令和 3 年度から事業を進めていた高屋敷西地区が、宮城県から終了認可の通知を受け、11 月 14 日付けの告示をもって事業が無事に終了いたしました。

また、仙塩広域都市計画第 7 回定期見直しにおいて、市街化区域へ編入された成田二期西地区については、年内の事業着手に向けて宮城県に施行認可申請を行っております。

成田二期北地区へのアクセス道路となる都市計画道路七北田西成田線の延伸工事については、順調に工事が進捗しており、令和 8 年度に予定している土地区画整理事業の造成工事着手時期に合わせ、引き続き整備の進捗を図ってまいります。

## （8）住宅・公園・上下水道関連施策について

次に、住宅・公園・上下水道関連施策について申し上げます。

大亀山森林公园については、令和 6 年度より活性化に向けた実証事業として、NPO 法人 SCR が主体となり、毎月 1 回のイベント開催と、毎週、土曜日から月曜日までの期間で「もしもしカフェ」の営業を実施してまいりました。

今後も、大亀山森林公园の更なる活性化を図り、より多くの方々から親しまれ

る公園を目指していくため、公園の管理業務とイベント開催を組み合わせた事業展開を図ってまいります。

つきましては、本定例会の補正予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議の程、よろしくお願いいたします。

水道事業については、館山配水池の設備更新工事において、更新の対象としている機器類の工場製作が開始されており、富ヶ丘地区等の配水管耐震化工事についても順調に進捗しております。両事業ともに年度内の完成に向け、鋭意取り組んでまいります。

下水道事業については、国の交付金を活用し、老朽化した管渠の調査を継続して実施するとともに、下水道管渠やマンホールポンプ施設の改築更新工事についても、年度内の完成に向け順調に進捗しております。

今後とも、市民生活の重要なインフラである上下水道の安定的なサービス提供に努めてまいります。

### 3. 「基本方針－2 教育と子育て環境を誇るまち」について

続きまして、「基本方針－2 教育と子育て環境を誇るまち」に関する主な施策について申し上げます。

#### （1）教育・青少年健全育成関連施策について

はじめに、教育・青少年健全育成関連施策について申し上げます。

第14回目を迎える「富谷市図書館を使った調べる学習コンクール」については、市内小中学校から1,525点もの素晴らしい作品の応募がありました。10月30日に最終審査を行い、全国コンクールに出品する市長賞を含む計23作品を選定したところです。

引き続き、日常的な調べる学習の充実を図りながら、児童生徒自らが知る喜びや学ぶ楽しさを実感できる機会の創出に取り組んでまいります。

また、今後は、総務大臣表彰を契機として、各作品にまちづくりへの提案書としての新たな価値を見出し、市政に反映するための仕組みづくりにも着手しながら、子どもにやさしいまちづくりに寄与してまいります。

## （2）教育・国際交流関連施策について

次に、教育・国際交流関連施策について申し上げます。

9月の議会定例会における学校体育館への空調設備設置についての一般質問に対しまして、前向きに検討する旨の答弁をいたしました。

近年の猛暑に伴う児童生徒の健康面への影響を改めて受け止め、早期着手の必要性を再認識するとともに、新たに創設されました国の「空調設備整備臨時特例交付金」が、令和15年度までの時限的措置であることを考慮し、当該交付金を最大限活用するため、来年度以降、順次整備していくことといたしました。

つきましては、本定例会の補正予算に実施設計に係る必要経費を計上しておりますので、ご審議の程、よろしくお願ひいたします。

中学生海外研修派遣事業については、11月7日に報告会を実施いたしました。多くの議員の皆様にもご出席いただき誠にありがとうございました。

生徒一人ひとりが事前研修で明確な目標を設定して臨んだことで、それぞれが多く学びや気づきを得られた貴重な機会となりました。

今後も引き続き、将来の富谷を担うグローバル人材の育成に取り組んでまいります。

## （3）生涯学習関連施策について

次に、生涯学習関連施策について申し上げます。

ユートミヤの整備については、令和8年2月末の完成を目指して順調に工事が進捗しておりますことから、市制施行10年目となる令和8年5月1日を開館予定日といたしました。併せて、公民館図書室のリノベーション工事にも順次着手しております。

ユートミヤの運営にご協力いただける市民の方々と共にパートナーズミーティングを定期的に開催してまいりましたが、9月21日にはユートミヤと共に歩む市民の会である「ユートミヤパートナーズ」、愛称「ユーとミー」が発足いたしました。

引き続き、市民の皆様と共に、ユートミヤの開館に向けて鋭意準備を進めてまいります。

つきましては、本定例会にユートミヤ及び市民図書館の条例案を上程するとともに、補正予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議の程、よろしくお

願いいたします。

6館すべての公民館において、公民館まつりを開催し、公民館サークルや地域の皆様にご参加いただき、盛況のうちに終えることができました。

#### (4) スポーツ・レクリエーション関連施策について

次に、スポーツ・レクリエーション関連施策について申し上げます。

本市とパラスポーツ振興に関する連携協定を結んでおります、一般社団法人宮城県障害者スポーツ協会の主催で、「みやぎ小学生ボッチャクラシック 2025」が、11月30日、富谷武道館を会場に開催されます。

また、12月13日には、富谷スポーツセンターを会場に、宮城県障害者スポーツ協会と連携して「パラスポーツ運動会 in 富谷」を開催いたします。

今後も、関係団体と連携を図り、障がい者のスポーツ活動への支援・交流の場づくりなど、パラスポーツの振興を通じて、活力ある共生社会の実現を推進してまいります。

#### (5) 芸術・文化関連施策について

次に芸術・文化関連施策について申し上げます。

「とみやマーチングフェスティバル 2025」については、11月22日に開催し、とみやマーチングエコーズや市内小学校金管バンド、鼓響とおのみや太鼓、フィクスM、フィクスMジュニアのほか、招待団体として、宮城県警察音楽隊の皆さんにご出演いただきました。

また、11月8日、9日に開催されたマーチングバンド・バトントワーリング東北大会では、一般の部において、とみやマーチングエコーズが28年連続29回目、小学生の部で、富ヶ丘小学校が10年連続10回目、明石台小学校が初めての全国大会出場を決めました。

全国大会は12月6日、7日に、さいたまスーパーアリーナで開催され、「音楽のまち マーチングのまち とみや」を代表し、全国の観衆を魅了する発表となるよう、ご期待申し上げますとともに、今後も支援を継続してまいります。

つきましては、本定例会の補正予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議の程、よろしくお願ひいたします。

## （6）子育て関連施策について

次に、子育て関連施策について申し上げます。

先の議員全員協議会においてご説明申し上げました「乳児等通園支援事業」いわゆる「こども誰でも通園制度」については、令和8年4月の開始に向け、現在準備を進めております。

本市においては、保育需要の高止まりが続いていることから、まずは成田保育所において実施してまいりたいと考えております。

つきましては、本定例会に条例案を上程しておりますので、ご審議の程、よろしくお願ひいたします。

放課後児童クラブについては、成田小学校児童クラブの増築工事を令和8年2月末の完成に向けて、進めているところです。定員については、70名から120名に拡大し、成田小学校内に設置しているサテライトの解消を図ってまいります。引き続き、同年4月から使用できるよう鋭意取り組んでまいります。

子どもにやさしいまちづくり事業(CFCI)の一環として実施している、こども家庭庁のモデル事業「100か月×100歳手仕事が繋ぐ世代の交流事業」については、ワークショップ2回とリハーサルを経て、集大成となるファッションショー「トミヤコレクション(とみこれ)」を、とみっこを会場に11月29日に開催いたします。

100か月の親子と高齢者、そして、大学生の世代を超えた交流により、参加者全員が、笑顔とやさしさに満ち溢れたイベントとなることを期待しております。

## 4. 「基本方針－3 元気と温かい心で支えるまち」について

続きまして、「基本方針－3 元気と温かい心で支えるまち」に関する主な施策について申し上げます。

### （1）高齢者支援関連施策について

はじめに、高齢者支援関連施策について申し上げます。

認知症の普及啓発事業の一環といたしまして、9月27日に、地域の皆様のご参加をいただきながら、行方不明高齢者の捜索模擬訓練を実施いたしました。QR

コード付シールを活用した「認知症高齢者等見守り支援事業」の普及啓発や、警察との連携訓練を行うなど、行方不明時のいち早い発見と保護に向けて、日ごろから地域で見守り合う意識を醸成する取組となりました。

また、広報とみや 12月号では認知症への理解を深めていただくための特集記事として、当事者の方及びご家族の思いや、本市における主要な取組などを掲載しております。

今後も市民の皆様が認知症を「我がこと」として捉え、地域全体で見守り、支え合うことができる「やさしいまちづくり」を目指し、取組を進めてまいります。

## （2）健康・保健関連施策について

次に、健康・保健関連施策について申し上げます。

日々の健康維持、歩数を意識するきっかけづくりを目的として、10月14日から11月24日まで「謎解き ウォークラリー」を開催いたしました。今年度は、成田地区及びしんまち地区の2か所を会場とし、新たな取組として、参加者及び期間中一定以上の平均歩数を達成した方に対し、宮城県で運用する「みやぎポイント」を付与することとしております。参加者数については、昨年度の約3倍の706名と、大変多くの方にご参加いただきました。

10月28日には、「発酵と健康」という視点を踏まえ、「腸活」をテーマとした「とみや市民公開講座」開催いたしました。

また、生活習慣病予防の啓発を目的に、昨年度まで開催してまいりました「塩エコキャンペーン」は、名称を変更し、「家族みんなで健康フェスティバル」として、11月8日にイオンモール富谷で開催いたしました。

今後も引き続き、各種事業を通じて、市民の健康維持・増進を積極的に図ってまいります。

高齢者の感染症対策については、インフルエンザ及び新型コロナウイルスワクチン定期接種を10月1日から実施しております。接種を希望される方が安心して接種を受けることができるよう、引き続き環境整備に努めるとともに、感染動向を踏まえ、基本的な感染症対策の啓発に取り組んでまいります。

### （3）医療関連施策について

次に、医療関連施策について申し上げます。

国保特定健診については、今年度からの新たな取組として、付随する他の検診と合わせ、11月に別途期間を設け、未検者健診を実施いたしました。

今後も引き続き、市民の皆様が健診を受診しやすい環境づくりに取り組んでまいります。

### （4）障がい者支援関連施策について

次に、障がい者支援関連施策について申し上げます。

本市では、障がい福祉サービス等の方策を定める「第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画」を策定し、各事業を推進しております。

来年度は、本計画の見直し時期となることから、その基礎資料となる日常生活の状況等を把握するためのアンケート調査を実施することといたしました。

市内にお住まいの65歳未満の障害者手帳をお持ちの963名の方を対象に、12月上旬より順次調査票の発送を進めてまいります。

また、12月24日に、精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の一環として、「子どもの支援現場から見える 若者の現状と課題」をテーマに、市民、関係者等を対象とした精神保健福祉講座を開催いたします。

今後も、精神障がいに対する正しい知識を広く普及啓発し、誰もが安心して自分らしく暮らすことができる地域社会を推進してまいります。

### （5）地域活動関連施策について

次に、地域活動関連施策について申し上げます。

本市では、福祉分野の上位計画である「地域福祉計画」を策定し、「成年後見制度利用促進基本計画」、「生活困窮者自立支援計画」、「自死対策計画」の3つの計画を包含し、福祉に関する諸計画を横断的に接続して福祉の向上を推進しております。

来年度は本計画の見直し時期となることから、その基礎資料としてアンケート調査を実施することとし、市内在住の18歳以上の方々や関係団体及び、中学生・高校生を対象として、1,875名、100団体の方々に対し、11月下旬より順次調査票を発送してまいります。

また、来年1月下旬には地区懇談会の開催を予定しておりますので、多くの

方にご参加いただけるよう準備を進めてまいります。

民生委員児童委員及び主任児童委員については、3年に1度の全国一斉改選の時期を迎え、12月1日に委嘱状の交付式を執り行います。

なお、12月より、定員は5名増の77名となります、新任委員17名を含む70名体制でスタートいたしますので、欠員が生じている地区についても、引き続き、行政区長の皆様にご協力をいただきながら、早期の委員確保に努めてまいります。

## 5. 「基本方針－4 市民の思いを協働でつくるまち」について

続きまして、「基本方針－4 市民の思いを協働でつくるまち」に関する主な施策について申し上げます。

### （1）防災・救急・消防関連施策について

はじめに、防災・救急・消防関連施策について申し上げます。

防災関連については、10月28日に西尾レントオール株式会社と「災害時におけるレンタル機材の提供に関する協定」を締結いたしました。

本協定により、災害時に本市が必要な機材等の安定的な供給が図られる優先供給権が確保されることとなり、避難所開設時の良好な生活環境整備の確保や、復旧工事での重機確保など、迅速な災害対応に役立ててまいります。

### （2）人権尊重・男女共同関連施策について

次に、人権尊重・男女共同関連施策について申し上げます。

「第2次富谷市男女共同参画基本計画」の策定については、男女共同参画推進審議会において基本計画案が取りまとめられました。

今後は、現在実施しているパブリックコメントのご意見等を踏まえ、審議会からの答申を経て、今年度内の策定に向け、取り組んでまいります。

なお、議員の皆様には、すでに配布している資料に基づいて、12月3日の議員全員協議会で改めてご説明申し上げます。

### （3）行財政経営関連施策について

次に、行財政経営関連施策について申し上げます。

国の交付金を活用して導入を進めておりました、各種証明書の郵送請求の手

続きフローをシステム化し、手数料の支払いのキャッシュレス化を可能とする、証明書郵送請求キャッシュレスサービスを開始し、申請者の負担軽減と行政サービスの向上を図ってまいります。

つきましては、本定例会に上程しております手数料条例の一部改正条例の施行後、12月中旬より開始いたします。

市税については、市民の皆様の納税に対するご理解を賜っておりますことに深く感謝を申し上げます。

定額減税補足給付金不足額給付については、対象となる方に順次ご案内を発送し、11月19日現在、4,955名の方への支給が完了しております。

なお、支給確認書の提出期限を10月31日と定めておりましたが、11月28日まで延長し、引き続き対象者への給付に努めているところです。

第2次富谷市総合計画の策定については、11月19日に第3回目となる総合計画審議会を開催し、令和8年度からの5年間における前期基本計画案について、ご審議いただきました。令和8年度をスタートとする第2次富谷市国土利用計画案についても、土地利用に関する基本的な方針や方向性などについて、ご審議いただいたところです。前期基本計画案と国土利用計画案は、今後、パブリックコメントを実施し、ご意見をいただくこととしております。

つきましては、本定例会に、第2次富谷市総合計画基本構想を上程しておりますので、ご審議の程、よろしくお願ひいたします。

以上で、令和7年富谷市議会第4回定例会開会にあたりましての挨拶とさせていただきます。